

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

鳥 取 県 米 子 市

平 成 2 8 年 3 月

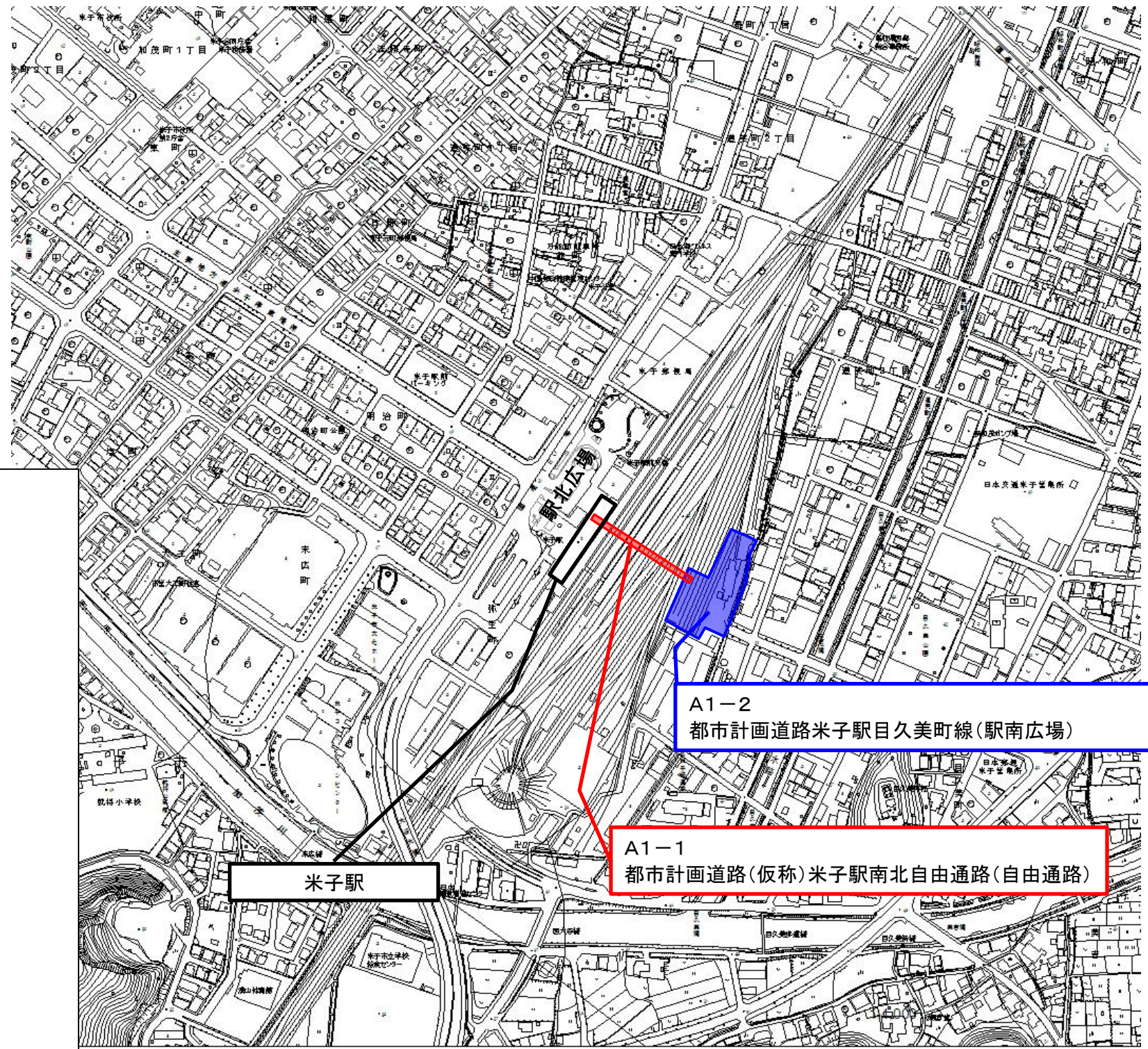
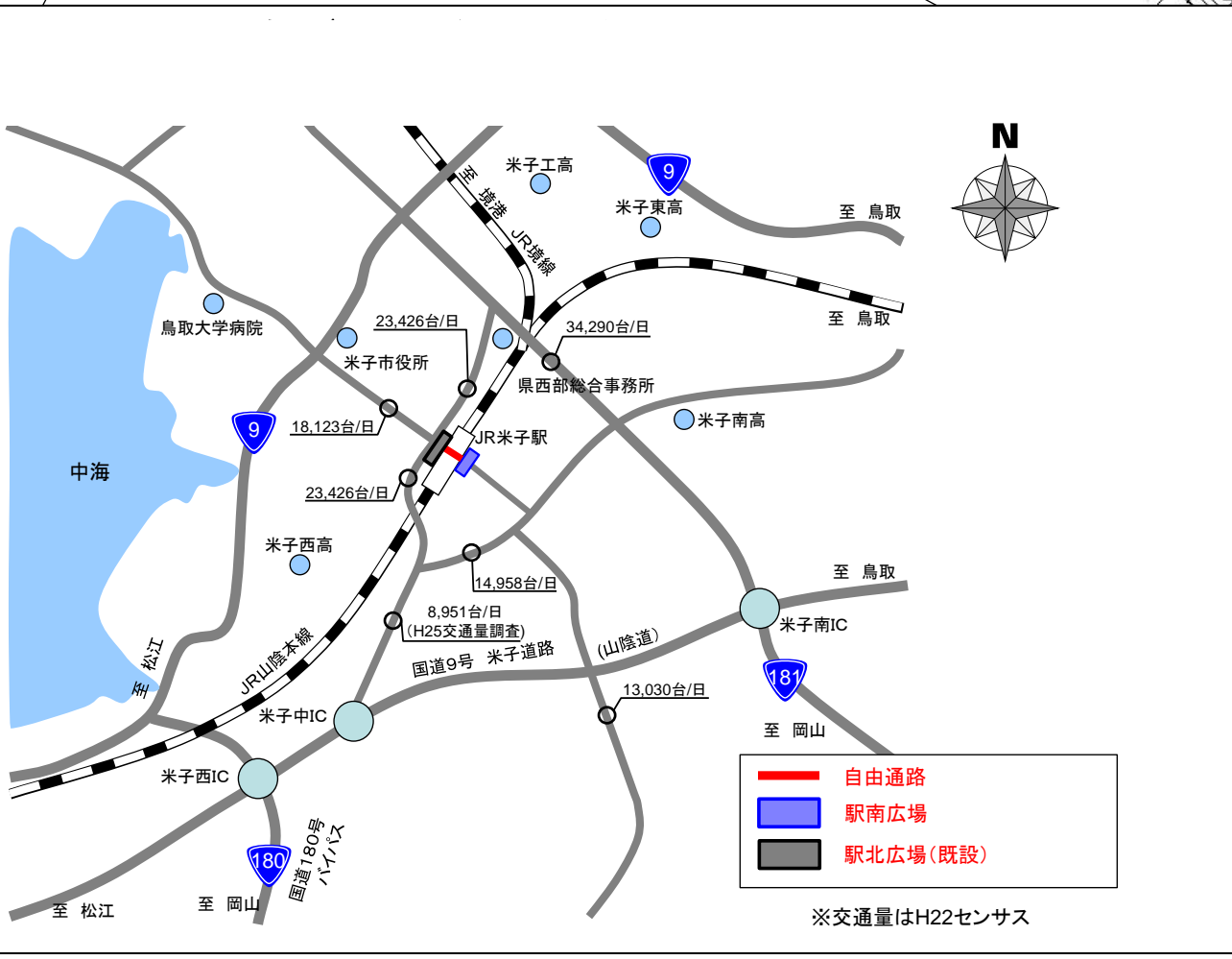
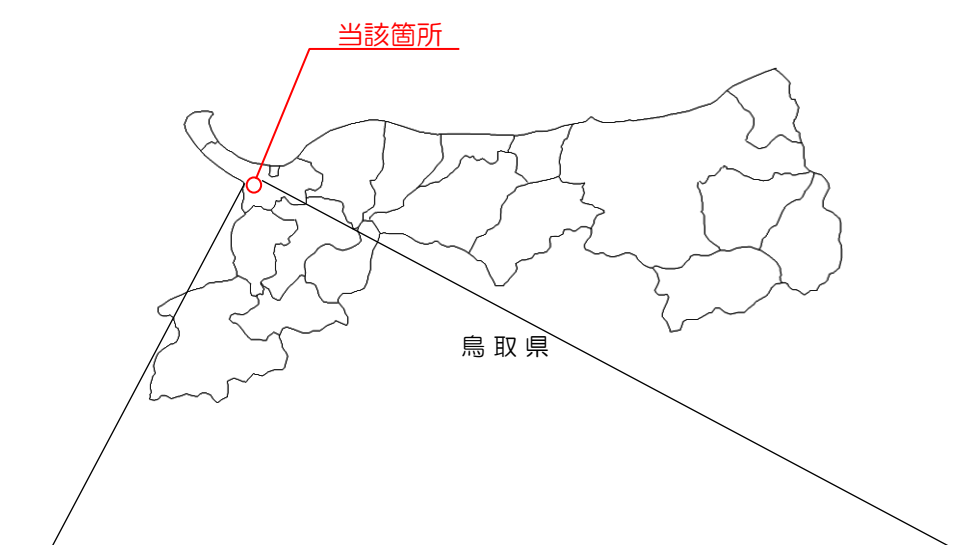
社会資本総合整備計画

平成28年3月11日

計画の名称	14 米子駅周辺における安全・安心な歩行空間の創出（防災・安全）							重点計画の該当	○									
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）			交付対象	米子市													
計画の目標	<p>JR山陰本線で分断された米子駅周辺地区において、南北自由通路及び駅南広場を一体的に整備することにより、駅へのアクセス改善による利便性向上や、交通結節点としての機能強化を図り、併せて、高齢者や障がい者など歩行者に配慮したバリアフリー対策（エレベーター、視覚障がい者誘導用ブロックなど）を実施することで、安全・安心な歩行空間の創出を図る。</p>																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 1日あたりの駅利用者数を7,100人から7,900人に増加させる。 歩行者の駅南地区から米子駅までのアクセス時間を3.9分短縮させる。（現況では米子駅のアクセスは駅の北側からに限られているため、駅南地区の住民は大幅な迂回が必要となっている。バリアフリー化された南北自由通路・駅南広場を利用することで、高齢者や障害者など歩行者が安全に安心して駅を利用でき、アクセス時間も短縮される。） 																	
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考											
				当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)												
	<p>1日あたりの駅利用者数を計測する。（駅利用者数=JR利用者+自由通路を利用するがJRは利用しない者） ・最終目標値7,900人≒7,186人【（JR利用者見込数(H32):推計人口143,729人×5%）+719人】（自由通路を利用するがJRは利用しない者:7,186人×10%） <5%:人口に対する駅利用者数の割合（H26実績値）、10%:JRは利用しないが自由通路のみを通過する者のJR利用者数に対する割合（自由通路を整備した他駅事例より推計）></p>			7,100人	—	7,900人	・現況値7,100人（H26年度実績値）											
	<p>歩行者の駅南地区から米子駅までのアクセス時間を算定する。 ・最終目標値3.9分短縮=【（整備後のアクセス時間9.1分）-（整備前のアクセス時間13.0分）】</p>			13.0分	—	9.1分 (3.9分短縮)	・現況値13.0分（H27年度算定値）											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,925百万円	A	4,925百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%						
交付対象事業																		
A1 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32			
A1-1	街路	一般	米子市	直接	米子市	S街路	改築	(仮称)米子駅南北自由通路（自由通路）	自由通路整備 L=0.1km	米子市						4,316	—	
A1-2	街路	一般	米子市	直接	米子市	S街路	改築	米子駅目久美町線（駅南広場）	駅南広場整備 A=0.5ha	米子市						609	—	
小計														4,925	—			
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H28	H29	H30	H31	H32				
小計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H28	H29	H30	H31	H32					
小計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				

(参考図面)

計画の名称	14 米子駅周辺における安全・安心な歩行空間の創出 (防災・安全)		
計画の期間	平成28年度～平成32年度 (5年間)	交付対象	鳥取県米子市



社会資本総合整備計画チェックシート

計画の名称：14 米子駅周辺における安全・安心な歩行空間の創出(防災・安全)

事業主体名：米子市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性が確保されている。	○
②地域の課題と整備計画の目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③目標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④十分な事業効果が発揮される。	○
⑤事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業実施に向けた機運がある。	○
②計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○